

町民の声

この町がふるさとに

西高柳 愛国唯一

子どもの頃、『ふるさとの歌まつり』というテレビ番組があり、全国各地の郷土芸能などを、宮田輝さんの名司会とともに楽しんだ。

幼かった私には、「ふるさと」という言葉の持つ深い意味は解らなかったと思うが、「ふるさと」

という響きはとても好きだった。

里の親が亡くなり、十数年前に住み始めた松前町が、私とわが子の「ふるさと」になるんだと感じる時、私には百歳までの生き甲斐が持てる。

わが子には、思い出しただけで帰りたい、好きだから住み続けたいと思える、そんな素敵な町であるなら幸せだろうと思う。

創生意欲と、今ある町



の宝を守り、更に磨く意気軒昂たる新町長ならばこの町を自慢の「ふるさと」に成せるものと期待している。

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。

投書多数の場合は、委員会でご掲載を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail : 500gikai@town.masaki.ehime.jp

300字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先・ペンネーム（希望する場合）をお書きください。

6月定例会号の訂正

11頁金澤議員の一般質問への答弁者で、教育長と教育委員会事務局長が入れ替わっていましたので訂正します。

（なお、局長の答弁前半部分は、教育長も同様の答弁をしています。）

傍聴席

広報紙では

見えないものが

西高柳 M・D

今回で二回目の一般質問議会傍聴。両日とも傍聴者は十名前後だった。私が興味を持ったのは、学童保育が取り上げられるという事だった。町内の三つの学童保育は、スペース、支援員

不足などに悩まされている。

来年度は、北伊予地区に新施設が建設されるという事で、町・子どもたち・保護者・地区住民・現場の支援員がどう関わり、話し合いが持たれ、事が進んで行くのかを知りたいと思った。詳細は説明されなかったが、多額の税金が投入されるのだから、子どもたちにとって、抛り所となる施設

設にしてほしいと思う。

議会の傍聴を通して、役場、議員の方々が松前町のために様々な事を考えて、町民の声を聴かれています。目を当たりにして、大変勉強になった。

広報を見るだけでは解りえなかった事が、議会に出向いて少しだけ見えてきたように思えた。

議場内で、女性が四名しか見受けられなかった事が、気になった。



傍聴の案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

（次回は12月中旬～下旬の予定です。）



本会議は、町ホームページでライブ中継を行ってまいります。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。